

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、平成 25 年度福井県公共工事入札監視委員会（第 2 回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

- 1 日 時 平成 25 年 8 月 28 日（水） 13:30 ～ 15:30
- 2 場 所 県庁 3 階 第 3 委員会室
- 3 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員（五十音順）

4 議事次第

- (1) 開会
- (2) 議題
 - ・入札および契約に係る制度の運用について
 - ・抽出事案審議
 - ・談合その他の不正行為に関する事項について
- (3) その他
- (4) 閉会

5 会議概要

- (1) 入札および契約に係る制度の運用について（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日）
 - ・契約件数、落札率の状況について説明
 - ・指名停止の運用状況について説明

Q 総合評価落札方式の実施状況については、前回までのように全体的な説明があったほうがよい。同方式における技術評価点がどのように評価されているかなど、概略を知る意味でも全体の実施結果についての報告が必要である。

A 総合評価落札方式の実施状況について、前回までは入札価格が最も低い業者以外の業者が技術評価点による評価の結果落札した状況について報告させていただいたが、そのような逆転率による評価がいいのか、また別の評価方法がいいのかを検討させていただきたい。

- (2) 抽出事案審議（事前に清水委員が抽出）

ア 野外恐竜博物館建築工事（展示場棟）

Q 入札公告に暴力団または暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について記載しているが、この趣旨は何か。

A 公共工事の発注の際に、直接工事を請け負う業者が暴力団関係者ではなくても、暴力団関係者が不当な圧力をかけて特定の業者を下請けに入れることなど、暴力団の資金源になる行為を断とうという趣旨である。

イ 雪寒地域道路（防雪）工事（防災・安全交付金）その 2 工事

Q 入札参加資格を工事施工場所のある大野市の業者に絞るのであれば、全員が工事实施市町に営業所をもつことから総合評価の地域精通度の評価点が同じになり評価項目として不要ではないか。

A 今回の工事は、入札参加資格を奥越土木事務所管内に営業所を有することとしていることか

ら大野市と勝山市の業者に入札参加資格があり、総合評価における評価点は業者により異なることになる。

ウ 道路改良工事（社会資本整備総合交付金）その19工事

Q 入札結果を見ると失格者になった業者が多く、また、予定価格に近い入札金額のグループと最低制限価格に近い入札金額のグループがあるように見られるが、どのような理由が考えられるか。

A 南越前町の山間部における工事であることから考えて、工事場所に近く交通費などを節約できる業者が低い入札金額で最低制限価格を下回って失格になった一方で、工事現場から遠く移動時間や交通費がかかる業者は入札金額が高くなったのではないかと考えられる。

Q 今回の落石防護柵や植生基材吹き付け工事を法面造成工事から切り離して分割発注したのはなぜか。

A 今回の工事場所のすぐ先でトンネル工事を行っており、工事車両の出入りが多くあるため、今回の工事の工事用車両や資材置き場を十分に確保することが困難であると考えられたためである。

エ 平成24年度経営体育成基盤整備事業（土地総）第19号工事

Q 集落ごとにバラバラに用水路・排水路を補修・整備していくと工事費が割高になるのではないか。

A 整備に当たっては、地域を管理している土地改良区などと協議しながら、地区ごとに緊急性のある補修箇所を順位付けし、コストが不当に高くないよう平成22年から5か年計画で取り組んでいる。

オ 臨海下水道事業生物汚泥脱水機更新工事

Q 入札参加資格において地域要件を問わないこととしているが、県外からはどの地域から入札に参加があったか。

A 愛知県と東京都からである。

(3) 談合その他の不正行為に関する事項について

「該当なし」と報告。

(4) その他

今年度第1回の委員会より取り組んでいる入札制度の検討のため、本県における入札制度の課題について事務局より説明。

委員から、道路・トンネル・橋梁等の維持・管理・補修業務が今後重要となる中で、専門業者も育ちにくく利幅も薄いことから辞退をする業者は多いようだが、そのような弊害を避けるために、維持・管理・補修業務を一括して契約することは検討できないかという提案あり。